

# 「高校生熟議」から 話し合う情報モラルの授業

聖母被昇天学院高等学校  
教諭 岡本弘之  
okamoto@assumption.ed.jp

## 1. 高校生熟議の紹介から

### 高校生熟議とは

**41st 2012** **高校生熟議(2012年度)** EMA

●高校生熟議2012 熟議テーマ  
「スマートフォン時代の情報モラルと利活用」

●各回熟議テーマ  
第1回 「大やがって様々」  
第2回 「大やがって様々」  
第3回 「高校生が考えるスマートフォン時代の情報モラルと利活用」

●アルファベットの登録  
【大阪開催】第1回 2012年9月8日(土)13:30-17:00 第2回 2012年11月3日(土)13:30-17:00  
【東京開催】第1回 2012年7月21日(土)13:30-17:00 第2回 2012年11月3日(土)13:30-17:00

2012年度テーマは  
スマートフォン時代の情報モラルと利活用  
・大阪3回・東京2回実施

【主催】  
内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、一般社団法人全国高等学校PTA連合会  
一般社団法人日本スマートフォンセンター協会  
東京都高等学校情報教育研究会、独立行政法人、全国鉄道の協力会

【協力校】  
聖母被昇天学院高等学校  
聖母被昇天学院高等学校  
聖母被昇天学院高等学校  
聖母被昇天学院高等学校

<http://www.ema.or.jp/education/evnets/jukug2012/index.html>

### 高校生熟議の様子

生徒は学校を混ぜたチームで、  
ファシリテーター(大人)のもと  
と徹底的に話し合う(=熟議)

### 高校生熟議の目標

**高校生熟議が目指すもの** EMA (参考資料4)

●啓発活動における課題  
●ネットが分らない  
●操作能力が高い分、安易にネットを利用する高校生  
●知識・経験が不足してトラブルに巻き込まれる小・中学生

大人の肩に任せておく  
自らの足で歩かせよう

当事者である高校生自身の気づき  
年少者の子どもに行動できる高校生の育成  
次世代の保護者の育成

小・中学生 相談 高校生 特別の相談 大人

の会や研究会、協議、連携等により、教育する上には、自身の心と行動を共にする(=熟議)の一環として、主体的に話し合う。

## 2. 話し合う情報モラルの授業

# 1. はじめに

- テーマ (目標)
  - SNSも含めた「情報発信」の注意点・活用を、主体的に考えさせる授業をしたい
- 授業方法の工夫として
  - 経験交流を行いたい
  - 話し合いを活性化するためKJ法やブレンストーミングの手法も取り入れたい
  - 影の部分だけでなく活用まで考えさせたい

## (1) 授業の実践



### ①知識の整理をする (1時間)

- <内容>
- Web・ブログ・SNSについて説明、更新の容易さ、双方向性、公開範囲についてワークシートの表でまとめる
  - 人気ブログの分析 (ターゲット・発信内容の工夫)

<知識の整理>  
・説明を聞きながら、Web・ブログ・SNSの特徴をまとめよう！

	Web	ブログ	SNS
発信の対象	不特定多数		
更新の手間	△ 知識必要		
双方向性	× メールなどによる		
その他特徴			

資料 生徒のワークシート

### 実際の画面を見せながら・・・



### ②利点と注意点を整理する (1時間)

- ブログ・SNSでの情報発信について注意点・利点について表と付箋に書かせる
  - 自分・周りの経験から+調べたことの両方

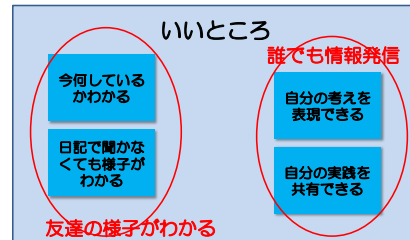
2. ブログやSNSといった個人が情報発信できるツールの便利な点 (メリット)、課題・注意すべき点は何でしょうか。自身の経験周りの経験+調べてください。  
手順: ①個人で表と付箋に記入 → ②グループで共有し分類・整理しましょう

	便利な点
自分や周りの経験	
調べたこと	

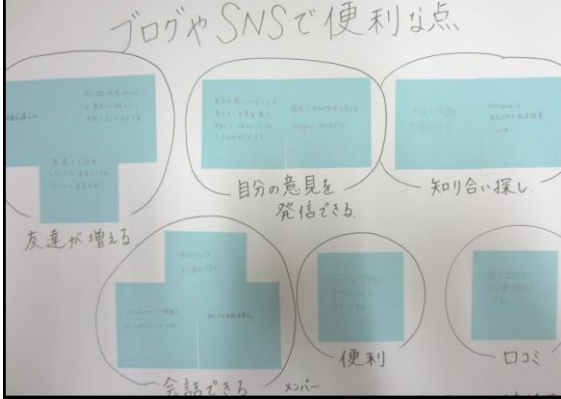
資料 生徒のワークシート

- KJ法を使って意見を共有・整理させる

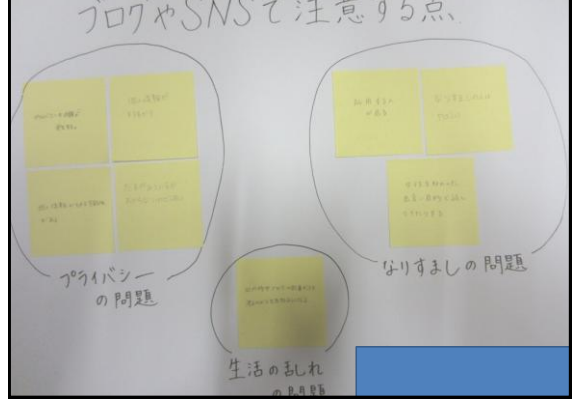
資料 説明に使ったスライド



生徒が作業した画用紙①



生徒が作業した画用紙②



**生徒発表「分析：ブログ・SNSの利点・注意点」**

いいところ・長所	注意するところ・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>個人が情報発信しやすい</li> <li>コミュニケーションが豊かになる(交流)</li> <li>情報の収集がしやすい</li> <li>同じ趣味を持った人とつながりやすい</li> <li>情報交換が楽しめる(双方向性)</li> <li>いつでもどこでも発信できる</li> <li>連絡が取りやすい</li> <li>交流が楽しい</li> <li>ともだちが増える</li> <li>簡単に更新・書き込みができる</li> <li>自分が思ったことをすぐ書き込める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛ぶ人の被害にあうかも</li> <li>個人情報知られやすい</li> <li>ウソの情報も多い</li> <li>誰に見られているかわからない</li> <li>人間関係が悪くなることもある</li> <li>写真付きだと居場所が特定される</li> <li>犯罪に巻き込まれる</li> <li>登録するときの手間</li> <li>参加する人が限られている</li> <li>危ない人からの連絡の可能性も</li> <li>依存・疲労の危険性</li> <li>なりすましの問題</li> <li>他人を傷つけてしまうかもしれない</li> <li>その情報、正しさが分からない</li> <li>悪口・中傷</li> <li>依存症になりがち</li> <li>著作権の侵害</li> <li>個人情報が漏れる</li> <li>批判される危険性・トラブル</li> <li>知らない人知り合う危険性</li> <li>誰に見られているかわからない</li> <li>知らない人からの申請</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単(いつでも書き込める・更新が楽)</li> <li>コミュニケーション(同じ趣味)</li> <li>誰でも発信できる</li> <li>情報交換できる(双方向)</li> <li>SNSは友人のみに情報をできる</li> <li>いろいろな情報を得ることができる</li> <li>人脈形成に便利</li> <li>国際交流</li> <li>やりとりがスピーディー</li> <li>友人とのやり取りが楽しい(様子・レス)</li> </ul>	

### 知識のまとめと考察

<知識の整理>  
 ☆一般的にブログやSNSなど個人の情報発信で気をつけることは？  
 ① ( **自分・他人の個人情報に注意する** ) → SNSは公開範囲を制限可能  
 ② ( **著作権・肖像権に配慮する** ) → 法律違反は×、損害賠償事例あり  
 ③ ( **悪口・批判などネガティブ表現に注意** ) → 見て不快・度を過ぎれば裁判にも  
 → さかのぼって見られても大丈夫な情報発信を！

考察 自分のブログ・SNSで情報発信をする際に、どのようなことに気をつけるべきか？  
 箇条書きで具体的に書いてみよう

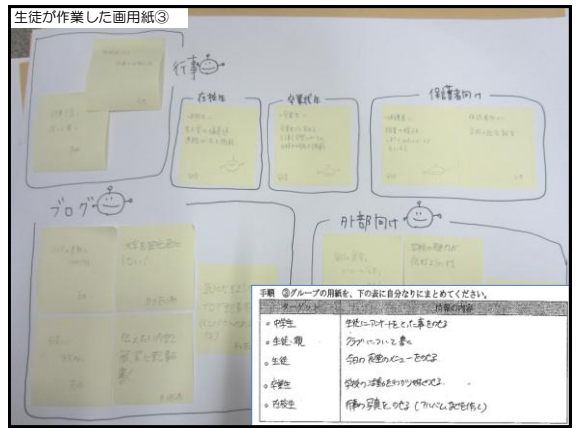
### ③活用を考える (1時間)

• 学校が公式ブログ・SNSサイトを作った場合、何を発信すればいいか話し合う

話し合いのルール

- ①判断・結論を出さない(結論厳禁)  
自由なアイデア抽出を制限するような、判断・結論は横む。
- ②粗野な考えを歓迎する(自由奔放)  
ユニークで斬新なアイデアを重視する。
- ③量を重視する(質より量)  
様々な角度から、多くのアイデアを出す。
- ④アイデアを結合し発展させる(結合改善)  
別々のアイデアをくっつけたり一部を変化させたりする

資料 生徒への提示スライド



## ②生徒発表「活用：学校ブログ・SNSを作ったら」

ターゲット	記事の内容
在校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>各大学の履修値</li> <li>行事の写真</li> <li>受審した生徒の紹介</li> <li>審判発表時の案内</li> <li>食堂メニュー</li> </ul>
卒業生	<ul style="list-style-type: none"> <li>来れる行事の紹介</li> <li>学校や生徒が取り組む活動の紹介</li> <li>同窓会のお知らせ</li> </ul>
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の様子、行事の様子</li> <li>修学旅行の速報</li> </ul>
受験希望者	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の魅力・教育方針・雰囲気</li> <li>学校の案内・設備の紹介</li> <li>受験へのアドバイス・勉強法・過去問</li> <li>学校クイズを毎日出題</li> <li>音声付学校紹介（動画）</li> </ul>
塾向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の方針・カリキュラム</li> </ul>
一般向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の紹介</li> <li>主催のコンクールをつくり宣伝</li> <li>地域向け行事を企画し宣伝</li> </ul>

## (4) 考察とまとめ

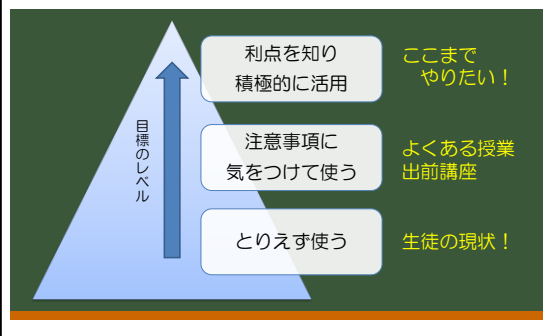
## 生徒の感想からの考察

- 「SNSの注意事項を初めて見た」  
→ 注意事項の調べ方が学べた
  - 「カメラの位置情報に気をつけて」  
→ 具体的に新しい注意事項が学べた
  - 「注意点を守ればコミュニケーション」  
→ マイナス・プラス面のバランスが良かった
  - 「話し合いは楽しかった・参考になった」  
→ 受け身ではなく主体的に授業に取り組めた
- 話し合いの準備をさせたから
- 経験交流させたから
- うまい活用例がでたから
- 話し合いが活発に行えたから

## 5. まとめ

- 「話し合う」情報モラルの授業は
- 「準備→話し合い→発表→教師の解説」の各段階で生徒の学びがあった
  - KJ法・ブレインストーミングといった話し合いの方法を使ったことで、全員が話し合いに参加でき、活発な意見交換ができた
  - 注意点だけでなく、利点を知ったことで、積極的な活用を考えることができ、活用を考えたことで、発信側のねらいを考えた
  - 生徒が主体的に取り組んだことで、自分のブログを見直すなど次の行動につながった

## 情報モラルの授業の目標



## 続きはWebで

「情報科の授業アイデア」  
<http://www.okamon.jp>  
 プリント・スライドも公開しています

ウェブ 画像 動画 辞書 知恵袋 地図 リアルタイム 一覧

情報科 授業

検索

「情報科 授業」で検索